

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

平成24年度農作物病虫害発生予察情報について

平成24年度農作物病虫害発生予報第7号を発表したので送付します。

平成24年度農作物病虫害発生予報第7号

平成24年8月16日
徳島県

I. 果樹
カンキツ

黒点病

1) 予報内容

発生量 平年より多く(前年より多い)、発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

(1) 8月前半の巡回調査(スダチ)では、発生圃場率が87.5%、果実発病度が1.2であり、平年(6.1%、0.3)と比べて高めの発生である。

(2) 8月10日発表の1ヶ月予報では、平年と同様に晴れの日が多いと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、また日照時間は平年より少ないと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 枯れ枝を極力除去する。また、せん定枝は園外に持ち出して処分し、病原菌密度の低下に努める。

ミカンハダニ

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年並～やや多い)、発生程度は「中～多」

2) 予報の根拠

(1) 8月前半の巡回調査では、発生圃場率が68.8%、寄生葉率が22.9%であり、平年(57.6%、9.5%)と比べてやや高めの発生である。

(2) 8月10日発表の1ヶ月予報では、平年と同様に晴れの日が多いと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、また日照時間は平年より少ないと予想されており、発生に中立的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には、十分な量の薬液を散布する。

(2) ミカンハダニは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避ける。

ナシ

うどんこ病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 8月前半の巡回調査では、発生圃場率が50.0%、葉の発病度が0.7であり、ほぼ平年(35.7%、1.5)並の

発生である。

(2) 8月10日発表の1ヶ月予報では、平年と同様に晴れの日が多いと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、また日照時間は平年より少ないと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 早期落葉すると樹勢を弱めるので、発生の多い園では収穫後に防除を行なう。

ハダニ類

1) 予報内容

発生量 平年並(前年よりやや少ない)で、発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

(1) 8月前半の巡回調査では、発生圃場率は75.0%で、平年(35.1%)と比べて高めの発生であるが、寄生葉率は4.9%で平年(7.3%)と比べてやや低めの発生である。

(2) 8月10日発表の1ヶ月予報では、平年と同様に晴れの日が多いと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、また日照時間は平年より少ないと予想されており、発生に中立的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 発生の多い園では収穫後に防除を行なう。

(2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

果樹共通

果樹カメムシ類(ツヤアオカメムシ, チャバネアオカメムシ等)

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年より多い)、発生程度は「中～多」

2) 予報の根拠

(1) 7月下旬～8月上旬における勝浦町の予察灯への誘殺数はツヤアオカメムシが平年よりやや多め、上板町ではチャバネアオカメムシが平年より多めで推移している。

[ツヤアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝 浦 町					上 板 町				
	2012年	2011年	2010年	2009年	平 年	2012年	2011年	2010年	2009年	平 年
7.4	145	4	74	41	42	13	0	10	7	13
7.5	131	3	61	43	27	4	1	9	1	9
7.6	234	16	55	48	39	4	0	2	1	9
8.1	127	9	29	45	55	1	0	14	1	6
8.2	280	9	12	70	70	6	2	8	1	7
8.3		10	26	71	69		0	9	1	6

[チャバネアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝 浦 町					上 板 町				
	2012年	2011年	2010年	2009年	平 年	2012年	2011年	2010年	2009年	平 年
7.4	34	6	92	18	50	449	14	32	6	53
7.5	40	4	94	17	58	634	6	22	10	40
7.6	65	13	89	41	66	198	1	28	15	39
8.1	77	7	84	66	74	94	2	33	11	29
8.2	71	4	27	178	84	18	1	12	16	25
8.3		27	57	85	126		8	18	10	20

(2) 8月10日発表の1ヶ月予報では、平年と同様に晴れの日が多いと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、また日照時間は平年より少ないと予想されており、発生に中立的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので、園内を巡回し飛来に注意するとともに、飛来を認めたら早急に防除を行なう。

- (2) 果樹カメムシ類は夜行性なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施する。
- (3) 移動性が大きいので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

II. その他

- 1) 防除にあたっては、圃場をよく観察し、適期を逃さないようにして下さい。
- 2) 薬剤の使用にあたっては必ず使用基準を遵守し、周辺作物等へ飛散しないようにして下さい。

発生量の表示

発生程度：甚>多>中>少>無

発生量：多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所
U R L : <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/boujyosyo/>

○病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除法等をお知らせしています。